

主題名「きまりは何のために」 【内容項目 規則の尊重】

教材名「きまりじゃないか」

3年

#### 教材の活用について

裕一たちの学校では、「遊びボード」が赤の時には校庭に出てはいけないというきまりがある。裕一は雨がやんだら友達とドッジボールをする約束をしていた。雨はやんだのだが水たまりがあり、ボードは赤のまま。友達の大助から誘われるが、裕一は断り校庭に行くのをやめる。しかし、大助たちは校庭へ出て行ってしまう。他のクラスの子供たちも外へ一斉にとび出していく。さらに、仲良しの勝からも早く行こうと誘われ、裕一は迷うが、「きまりじゃないか」と小声で言う。「遊びボード」が赤でも外に出ようとする大助と、きまりを守ろうとする裕一の、二人のきまりに対する思いと行動について比較することで、きまりを守ることの意義を考えさせ、本時のねらいにせまりたい。

#### この授業で育てたい児童の心

きまりは、個人や集団が安全に、かつ安心して生活できるようにするためにある。また、きまりを守ることは、周りへの思いやりでもある。一人一人が身近な生活の中の、公共のものや場所に関する約束やきまりについて考えることを通して、きまりを守ろうとする心を育みたい。

#### 授業の流れ(学習活動)

- ① どんなきまりがあるか考える。
- ② 「きまりじゃないか」を読む。
- ③ 裕一と大助の気持ちを考え、きまりに対する思いを比較する。
- ④ どうしてきまりを守るのか考える。